

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
楽器レッスン1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	二村・藤田			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
<p>基礎的なピアノの演奏を学ぶ。正しいフォーム・メジャースケールを片手で弾くことができるよう学んでいく。3つ以上の和音を弾けることで楽曲制作の基礎能力を構築する。スケールごとに運指が異なる事を理解し、正しい運指で弾くことができるよう学ぶ。ポップスの譜面ではコードネーム表記の演奏が主体となっており、ピアノ譜面（音符の玉）が苦手な学生が多くみられるため、大譜表を見ながら右手と左手で弾けるよう学ぶ。</p>											
到達目標											
<p>本科目はグレード対応科目となっており、1年次前期はグレード1～5に準拠して授業が進行する。正しいフォームでCメジャースケールが弾くことからスタートしていく。到達目標はハノンの運指を体得し、ピアノ譜面（音符の玉）が読めるよう大譜表を見ながら右手と左手の”音符の玉”をテンポ60の4分音符で弾けることを目標とする。</p>											
授業方法											
<p>和音・スケールを弾く際、正しいフォームで弾けるよう理解して受講する。また各スケールにより運指が変わる対応で、調号3つまでの各メジャースケールの運指をピアノ譜で読譜をしながら理解し、片手で弾くことができる。玉譜を理解して、両手を使ったコードに対応するためにハノンの運指を体得し後期まで基礎を学ぶ。</p>											
成績評価方法											
試験30%、小テスト10%、実技50%、平常点10%											
履修上の注意											
<p>楽器への対応のためにヘッドフォンジャックから標準ジャックへの変換プラグを各自用意すること。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度には厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
配布プリント											
回数	授業計画										
第1回	グレード1対応。正しいフォームでCメジャースケールを弾くことができる。										
第2回	グレード1対応。正しいフォームでCメジャースケールを弾くことができる。										
第3回	グレード2対応。簡単な和音を3つ以上片手で弾くことができる。										

楽器レッスン1

第4回	グレード2対応。簡単な和音を3つ以上片手で弾くことができる。
第5回	グレード2対応。簡単な和音を3つ以上片手で弾くことができる。
第6回	グレード3対応。調号3つまでの長音階を片手で弾ける。
第7回	グレード3対応。調号3つまでの長音階を片手で弾ける。
第8回	グレード3対応。調号3つまでの長音階を片手で弾ける。
第9回	グレード4対応。両手を使ったコードに対応するためのハノンの運指を体得する。
第10回	グレード4対応。両手を使ったコードに対応するためのハノンの運指を体得する。
第11回	グレード4対応。両手を使ったコードに対応するためのハノンの運指を体得する。
第12回	グレード5対応。大譜表を見ながら右手と左手の「音符の玉」をテンポ60の4分音符で弾ける。
第13回	グレード5対応。大譜表を見ながら右手と左手の「音符の玉」をテンポ60の4分音符で弾ける。
第14回	グレード5対応。大譜表を見ながら右手と左手の「音符の玉」をテンポ60の4分音符で弾ける。
第15回	全体のまとめ